

ユミコアジャパン 神戸にリチウムイオン 電池材料の製造拠点 投資額 40 億円

本日、4月7日、東京で行われたステヴン・ヴァナッケル ベルギー副首相兼外相と直嶋 正行 経済産業大臣との会談の中で、ユミコア本社（ベルギー）トーマス・レイセン会長より、ユミコア社リチウムイオン電池材料事業の日本国内への投資計画について、詳細な発表がありました。

ユミコアは、神戸市において40億円の投資を行います。これは日本での当該事業を展開する上できわめて重要な拠点となり、また計画生産能力に達した時点の雇用は40人になる予定です。さらに、この投資には電池材料の試験・実証のための新しいテクニカルセンターも含まれます。このテクニカルセンターでは主に学卒以上の技術者を採用し、また顧客の要求に応じて同センターを拡張・拡充して行きます。

今回の投資に伴い、経済産業省より「低炭素型雇用創出産業立地推進事業費補助金」の認可をいただきました。ユミコアジャパンに対する補助金は、およそ6億円（500万ユーロ）の予定です。そしてユミコアは、今回の補助金の交付先に決定された企業のうち、唯一の外資企業です。補助金は今回の投資による支出の一部に使われます。新工場・テクニカルセンターでは、2011年に顧客との認定作業および生産の立ち上げを開始する予定です。

ユミコアは、顧客・研究機関・大学への便利なアクセスを提供する大変優れた交通インフラを持つ、神戸を選びました。神戸は、国内と海外の研究者が交流するための豊かな土壌を持つ、大変国際的な都市であります。ベルギー本社は、ユミコアのリチウムイオン電池材料事業において中心的な役割を担い、ハイパフォーマンス材料の開発を担当するベルギー・オーレンにある本社の研究開発センターを通じて、新しい神戸の拠点をサポートして行きます。

トーマス・レイセン談：

“私たちは、日本の経済産業省と非常に建設的な交流を持ち、そして日本における低炭素型産業の更なる発展に貢献できるパートナーの1社として選ばれたことを大変嬉しく思っています。そして、日本のリチウムイオン電池産業の発展を下から支える重要な役割を果たすことを望んでいます。”

ユミコアジャパン社長、デニス・ゴッフォー談：

“ユミコアは、日本でのグリーンフィールド（建物が建てられたことのない土地）事業確立のために、JETRO（日本貿易振興機構）そして神戸市よりご提供頂いたサポートに対し、感謝しております。リチウムイオン電池の需要は今後数年間に急増しそうな状況にあり、日本の電池産業は特に自動車産業への供給において良いポジションにあります。ユミコアが神戸に設立する工場・テクニカルセンターは、日本のカスタマーをサポートする重要な拠点となるでしょう。”

リチウムイオン電池の需要は、特に、世界の自動車メーカーによるハイブリッド自動車や電気自動車のニューモデルの開発、市場投入によって、急速に増える見通しです。これにより、リチウムイオン電池用正極材の需要が増加し、ニッケル・マンガン・コバルト系化合物がこの分野で使用されるバッテリーの主要な正極材になり得る強い兆しが見られます。

会社情報:

日本におけるユミコア:

ユミコアの日本での事業活動は日本でコバルトの販売を始めた1926年まで遡ります。ユミコアは現在、東京に日本法人本社を置き、また国内2拠点で生産活動を行っています。

1つは筑波にて、触媒・めっきをはじめ、様々な用途に使用される貴金属化合物の製造を行っています。

また、株式会社日本触媒との合弁企業・株式会社アイシーティーにおいて、自動車の有害な排気ガスを低減するために使用される自動車触媒の開発・製造を行っています。姫路に開発・製造拠点を置き、大阪本社と東京で営業活動を行っています。

内藤昌平氏はユミコア本社の取締役会のメンバーです。氏はカンボジア、デンマーク、リトアニアそして直近ではベルギーで日本大使としての職務を果たしてこられました。現在は日本国際問題研究所にてシニアフェローとして活躍されています。

詳細情報問合せ先

ユミコアジャパン株式会社:

Denis Goffaux 03-5413-9410

denis.goffaux@ap.umicore.com

横井 康則 03-5413-9324

yasunori.yokoi@ap.umicore.com

ユミコア会社概要

ユミコアは機能材料メーカーで、その事業は大きく 1)先進素材・材料、2)貴金属製品・触媒、3)貴金属サービス（貴金属リサイクル・貴金属販売）、4)亜鉛特殊品の4つのビジネスエリアに分かれています。そしてこれらのビジネスエリアが各々のマーケットニーズに対応するビジネスユニットに分かれております。各事業とも、日常生活に必要不可欠なものから最先端技術の開発まで、多岐にわたり幅広くカバーしております。

弊社では、これまでに培った材料化学・化学・冶金学の専門知識を用いることで差別化を図れるアプリケーションに特化しております。これを継続的に実現すべく、R&Dの80%は、売り上げの50%を占める排ガス浄化触媒、二次電池向け材料、太陽電池、燃料電池、貴金属リサイクルのクリーンテクノロジー分野向けに費やしております。ユミコアは、開発・製造・リサイクルをすることで継続的に価値を創造し、これが弊社のミッションである“Materials for a better life”を実現していくものと考えております。

ユミコアは全大陸に拠点を設けており、グローバルにお客様へ製品をお届けしております。ユミコア全体の2009年売上は約69億ユーロ（貴金属売上を除くと17億ユーロ）であり、従業員数は約13700人です。